

令和 8 年度
草加市資金管理・運用計画

令和 8 年 4 月

草加市会計課

草加市資金管理及び運用基準に基づき、令和８年度の資金管理計画を次のとおり定めます。

1 これまでの経過と現状

本市では、令和４年度まで、当該年度の償還額を上限とした定期預金のみで資金運用を行っており、かつ長引く超低金利の影響もあり、利子収入が年々減少していました。

また、債券運用につきましては、平成２５年度までは国債購入により運用していましたが、利子収入が見込めなくなり、平成２６年度以降はその運用も取りやめておりました。

県内自治体の状況を見ますと、より金利の高い定期預金を活用したり、債券の運用に積極的に取り組み、利子収入を得ているケースもあることから、本市においても、厳しい財政状況を鑑み、可能な限り利子収入を得ようと、令和４年度末に「草加市資金管理及び運用方針」「草加市資金管理及び運用基準」「草加市債券運用指針」を定めました。

令和５年度に、新たに設置した「草加市公金管理運用委員会」において、安全性や流動性を優先しつつも、最大の運用益が図れるよう具体的な対策について協議し、令和６年度から、基金を活用した定期預金額の拡充や、債券の購入を開始しましたが、財政難により、令和７年度の運用可能額は、前年度より減少し、令和８年度はさらに減少しています。

2 国内の経済・金融動向

我が国を取り巻く社会経済情勢は、大きな転換期を迎えています。新型コロナウイルス感染症からの回復過程において、円安、物価高騰やエネルギー価格の上昇などが続き、市民生活や地域経済に大きな影響を及ぼしています。内需が下支えとなり緩やかな経済拡大が続く一方、海外景気の不透明感から成長スピードは鈍化すると見通しが有力とされる側面もあります。

令和７年１２月に、政策金利が引き上げられ、約３０年ぶりの高水準の金利になりました。今後も追加利上げが想定されており、長期金利の上昇も予想されています。

内閣では「強い経済」の実現を目指した総合経済対策と、物価高への重点的な支援とあわせて、成長分野への投資や危機管理の強化が国の政策の柱としましたが、一方で、世界紛争、トランプ関税、日中関係の悪化などが、日本の経済に悪影響を及ぼす懸念もあります。

3 *歳計現金等の管理運用

(1)資金収支の見通し

年度の下半期以降は、償還金や事業終了による支出及び12月の賞与支給などにより資金不足となる傾向があります。

また3月中旬から5月中旬までは自主財源である市税等の納期がなく、比較的収入が少ない中で資金需要が高まる時期となります。国や県からの交付金等の入金があるものの、資金不足とならないよう、資金残高の動向を注視します。

(2)管理運用

歳計現金等については、各所管課から提出される収支予定をもとに資金の需給を把握し、また、想定外の資金需要に備え、流動性の確保に配慮しながら、管理及び運用に努めます。

年度の下半期は、償還金や事業終了に伴う支出などにより、資金不足となる傾向がありますので、6月から9月までの、比較的資金に余裕がみられる時期に、金額及び期間を勘案し、定期預金による運用を行います。

なお、その残高の推移等を勘案し、安全性を確保したうえで、短期の国債や買い現先での運用も視野に入れて検討してまいります。

*歳計現金等とは、「歳計現金（日々の支払いに充てる支払準備資金）」と「歳入歳出外現金（預り金）」のことです。

4 基金の管理運用

(1)基金残高の見通し

基金は、特定の目的（事業）のためにあらかじめ資金を積み立てておき、その目的のために使うお金や財産のことで、一般家庭の貯金のようなものです。本市では20の基金を積み立てて活用しています。

事業の終了に伴い廃止に向けた検討を行うもののほか、近年の厳しい財政状況から資金の積み増しが難しく、残高は徐々に減少しています。

(2)管理運用

各基金の所管課と運用可能額及び運用期間を十分に調整したうえで、定期預金及び債券購入による運用を行います。

債券は、一般的には、満期まで安定的な利回りが確保できるメリットがある一方、予定している収益を確保できないデメリットもあるとされていま

すが、「草加市資金管理及び運用方針」に基づき、資金の安全性（元本保証）を最優先したうえで、利回り等を追求します。発行体や償還年限を分散して購入し、満期償還期限までの保管を原則とし、元本を守ります。

なお、令和8年度においては、新たに債券を購入しません。

< 令和 8 年度基金運用計画 > (R8年4月1日現在)

区分	金額	内訳
預金	77億円	普通預金 47億円
		定期預金 (R8.3.16~R9.3.16) 30億円
債券	12億円	3年債 (R6.4~R9.4) 8億円
		5年債 (R6.4~R11.4) 4億円
合計	89億円	89億円

令和 8 年度利子合計 (見込み) 約 4,374万円

< 基金 >

- ① 財政調整基金
- ② 公共施設整備基金
- ③ ふるさとまちづくり応援基金
- ④ 高速鉄道整備基金
- ⑤ 被災者支援基金
- ⑥ 国際交流基金
- ⑦ ふるさと産業創造基金
- ⑧ 新栄団地にかかる都市計画街路の設置等に関する基金
- ⑨ みどりのまちづくり基金
- ⑩ 暴力団排除支援基金
- ⑪ ふるさと納税基金
- ⑫ 介護給付費準備基金
- ⑬ 国民健康保険財政調整基金
- ⑭ 児童等災害対策基金
- ⑮ 高額療養費つなぎ資金貸付基金
- ⑯ 出産費資金貸付金
- ⑰ シティパーキングアコス整備基金
- ⑱ 森林環境譲与税基金
- ⑲ 新型コロナウイルス感染症緊急対策基金
- ⑳ こども基金